

光和コンピュータ

近刊マルチ登録サイト「K-PRO」を発表

挨拶する寺川社長



挨拶する寺川社長

当日は出版社84社など約150人が出席。椅子を追加して対応した。冒頭、光和コンピュータの寺川光男社長は、出版社約300社の基幹システムや、書店約1000店のPOS導入、取次会社などの取引実績を紹介。大手取次会社が提唱する委託から受発注型で、「情報インフラを構築し、業界全体が上昇気流に乗るお手伝いをしたい」と話した。

とくに出版社の近刊情報データベース(D)を取次店やTRC、ネット書店

K-PROの登録料は1万円(初回のみ)月

寺川社長は、出版社約300社の基幹システムや、書店約1000店のPOS導入、取次会社などの取引実績を紹介。大手取次会社が提唱する委託から受発注型で、「情報インフラを構築し、業界全体が上昇気流に乗るお手伝いをしたい」と話した。

とくに出版社の近刊情報データベース(D)を取次店やTRC、ネット書店

K-PROの登録料は1万円(初回のみ)月

K-PROの登録料は1万円(初回のみ)月

K-PROの登録料は1万円(初回のみ)月

「たなづくり」システムも11月中旬に

出版社、取次会社、書店、倉庫会社などのシステム開発と販売を手がける光和コンピュータは、本出版インフラセンター(JPO)の出版情報登録センター(JPRO)第2フェーズ支援会社として12月3日にリリースする近刊マルチ登録サイト「K-PRO」の概要を発表した。出版社の近刊情報登録でき、書店やJPRO、図書館流通センター(TRC)、ネット書店などへ独自に送信してアプリケーションできる。また、書店の欠品補充を出版社の推奨銘柄と照合し、売れる棚をつくるシステム「たなづくり」を11月中旬にリリースする。11月8日、東京・千代田区の出版クラブビルで行った同社第1「出版セミナー」で発表した。

「たなづくり」システムも11月中旬に

また、K-PROの画面上から7000店弱の書店を選択してブックシステムもできる。さらに、新聞や雑誌に掲載された書評をDB化できる。同社でも全国紙6紙に掲載された情報を取り込み、閲覧できるようにする。今後、ネット書店の反映状況を出版社が確認できるようにしたり、書店が書評情報を閲覧できるようにする。K-PROの登録料は1万円(初回のみ)月

JPRO第2フェーズに対応 近刊情報登録DB 書店、TRC、ネット書店へ送信

また、同社では出版社の推奨銘柄を書店が補充注文できる書店支援システム「たなづくり」を11月中旬にリリースする。人材不足により、補充注文が円滑にできない書店の売上げ向上につなげる。



出版界唯一の専門紙

株式会社 新文化通信社
郵便番号 170-0005
東京都豊島区南大塚2-39-7 ヤマト大塚ビル
電話 03-3942-5561
FAX編集03-3942-5568
振替東京00170-7-56511
発行人 丸島基和
本社購読料金
半年…15,000円(税込)
(毎週木曜日発行)
Shinbunka online
www.shinbunka.co.jp/

出版社は商品情報などを、書店は入荷、返品、売上げ、在庫情報を登録し、定番商品や推奨銘柄を比較して補充発注できる。他社のPOSを導入している書店でも利用できる取込み機能を用意している。同社の多田元晴取締役によると、①書店がデータを確認して発注する、②適正在庫が定量以下場合、自動発注するパターンがある。すでに「たなづくり」とある出版社で実証実験が行われ、同書店の売上げが10%以上上がった。